

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 三菱ガス化学株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル	
本票作成	部署名：三菱ガス化学株式会社 水島工場 研究技術部				
主たる業種	分類コード	1	6	業種名：化学工業	
事業の概要	キシレン類の異性化・分離及びその誘導体の製造。(製品生産数量848,992t)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		倉敷市水島海岸通3-10	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度		(5箇年度)				
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)				目標年度 (平成26年度)					
	434,396 t CO ₂				412,676 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量						
	①	水島工場		434,396 t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製造業として事業拡大等もあり、コントロールできる数値として生産数量を採用していません。	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.512 t CO ₂ / (t)	0.486 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ/GHG削減に関しては、本社に事務局を置くGHG対策チームを組織し全社的に活動を行っています。そのGHG対策チームにおいてエネルギー原単位1%/年改善を目標としており、全社的活動にリンクする目標削減率としました。

【目標削減率達成のための推進体制】

工場のエネルギー管理体制にて、全社的なGHG削減目標／RC目標に基づく目標設定を行い。個々のテーマについてはTPM活動における個別改善において取り組んでいます。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
水島工場	三菱ガス化学(株)水島工場は技術のブラッシュアップの名の元、化学プラントの省エネ活動等に取り組んできました。近年の大きなテーマとしては、主熱源である蒸気を発生するボイラー設備において、高効率化ボイラーの導入と燃料転換を行いました。前者はコージェネシステムが出てきた温度の高い排気を再利用することにより、より少ないエネルギーで蒸気を発生するものであり、後者はC重油からよりCO2排出係数の小さいクリーンエネルギーである天然ガスへの転換を行いました。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
水島工場	上述のように主熱源を発生するボイラーに関わる改善が一通り終了したため、今後の削減テーマはその効率的な運用と各装置毎の個別改善テーマが中心になります。現在取り組みを予定しているテーマを幾つか以下に記載します。 <ul style="list-style-type: none"> ・水溶媒の原料の濃度向上による水留出蒸気の削減 ・汚泥焼却炉の間欠運転による燃料使用量低減 ・省エネ診断による蒸気使用設備の運用効率化 その他、4～5年先の中期的なテーマとして、主原料であるキシレン製造において、より効率的な精製方法を研究技術部で取り組んでいます。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--